

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	看護学分野
学籍番号	—	院生氏名	小園由味恵
通学キャンパス	—		
論文題目	看護師が重度認知症高齢者に提供する口腔ケア方法選定のためのチャート作成		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文</p> <p>1) 研究の概要：認知症高齢者は誤嚥性肺炎などの合併症の発症率が高まり、重症化が進むほど口腔内の状態が悪化することが指摘されている。本研究は、重度認知症高齢者の状態に適した口腔ケア方法を短時間で選定し、実践につなげることができる簡便で、実用的チャートの作成を目的とした。</p> <p>研究1では、看護師8名から重度認知症高齢者に提供している口腔ケアの方法についてインタビューを実施、内容分析を行った結果、【口腔ケアに関する介入】【認知機能低下に関する介入】【リスク管理に関する介入】【義歯における介入】【口腔ケアにおける連携】の5項目が抽出された。</p> <p>研究2では、研究1の結果を基に、認知症看護認定看護師・摂食・嚥下障害看護認定看護師と口腔ケアチャート(案)を作成し、「寝たきり度」「中核症状」「BPSD」「口腔状態」「義歯使用」5項目についてアセスメントを行うこととした。更に歯科衛生士の協力を得て、口腔ケアチャート利用のための手順書を作成した。</p> <p>研究3では、病院看護師に口腔ケアチャート、手順書を使用し評価を実施した。10名の看護師にインタビューを実施、テキストマイニング手法による分析と10枚のチャート用紙記載内容の分析を行った。その結果、口腔ケアチャートに採用した介入項目は適切であり、使用しやすく、口腔ケア技術の獲得やケア意欲の向上につながったという評価を得た。</p> <p>2) 研究方法、論証、論文形式の適切さについて</p> <p>本研究は、著者が関係する大学の倫理審査委員会の承認を得て行っており、倫理的問題は無い。研究方法は適切であり、論証法、論文形式にも問題は無い。</p> <p>3) 知見の新規性と価値について</p> <p>重度認知症高齢者に適した口腔ケア方法を選定するための研究はない。短時間で簡便に方法を選定し、実践につなげられるチャートを作成できたことは、看護師だけでなく、施設や在宅における介護者にも活用でき、またケアに伴うストレスの軽減につながることが期待される点で、高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会は3回開催した。1回目において、研究3に示された調査研究が目的との整合性に欠けることが指摘され、チャートを実際に使用した研究と入れ替えることとした。1/4に再提出された論文を再審査し、更に論文構成、研究課題について指摘した。1/13適切に修正されたことを確認した。</p> <p>3. 口頭試問の結果</p> <p>口頭試問においては、論文構成、研究方法、用語の定義等について質問されたが、適切に応答した。</p> <p>4. 可否</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主 査	吉村 恵美子	
	副 査	小賀野 操	
	副 査	平田 文	